

4、開會の辭

中島 關 男

日本建國の精神に基き世界の文化を取入れ大和民族の精神を發揮し健全なる運動を遂行する事が日本主義運動である

5、講演

○日本産業労働俱樂部に就て  
日本産業労働俱樂部代表 大久保 秀治

吾々は日本精神に立脚し全國の労働者に呼びかけてゐるのである、經濟に、政治に、思想にあらゆる方面に大部分を占むる労働者の爲に十一の團體に依つて組織されたものである、それは決議機關にあらず協議機關である各組合の幹部は口には國家主義を唱へても實際に於て共產黨と何等變らぬ運動をして居る、そんな組合は加盟を許さぬ、六月八日成立し目下着々運動を進めて居る、資本家と労働者、

インテリゲンチヤも同一になつて精神的に和合したる時日本國家産業は發展する、今後他組合と組合員争奪が起るであらうが、如何なる迫害あるとも曲げざる精神こそ日本主義運動である、労働界の改革の爲め又非常時の解決に努力されたい

○日本主義運動と宗教

日本産業労働俱樂部顧問 和賀 義 見

今日は非常時である、國內國外關係を思ふ時國家非常を思ふ、アメリカに於てもロシアに於ても日英間に於ても心配である、國內に於ても經濟上憂ふ可き状態である、思想問題に於ても然り、反面この非常時局に對し國民の力に依りこの國難に打勝つたならば大日本建國精神を樹立し、全世界に向つて有色人種の獨立を圖り吾が高遠の理想境を實現